

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2010-179181(P2010-179181A)

【公開日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-120733(P2010-120733)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月6日(2012.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の入賞条件が満たされたことにより入賞となり、当該入賞に基づいて、大当たり遊技発生の有無に係る特別図柄の変動表示を1回実行するとともに、その変動表示に伴って、大当たり遊技発生の可能性を示唆する演出として、複数回の変動表示にわたって継続して展開する演出であって特別図柄の変動表示以外の映像表現による連続演出が実行される場合がある弾球遊技機であって、

所定の条件が満たされたことに基づいて連続演出の開始を判定する開始判定手段と、所定個数を上限に前記入賞条件が満たされたことによる入賞を保留する入賞保留手段と

当該連続演出の開始前に当該連続演出が終了する変動表示の回数である終了回数を決定する終了回数決定手段と、

当該連続演出の開始後に前記入賞保留手段に新たな入賞の保留があったことに基づいて上記終了回数を延長する終了回数延長手段と、

当該連続演出で消化した変動表示の回数が前記終了回数に達したことにより、連続演出の終了を判定する終了判定手段とを備え、

大当たり遊技が発生する場合に連続演出を終了するように形成されたことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 連続演出の開始、回数の決定、延長及び終了

(第1の発明)

上記の課題に鑑み、本発明に係る弾球遊技機10は、所定の入賞条件が満たされたことにより入賞となり、当該入賞に基づいて、大当たり遊技発生の有無に係る特別図柄の変動表示を1回実行するとともに、その変動表示に伴って、大当たり遊技発生の可能性を示唆する演出として、複数回の変動表示にわたって継続して展開する演出であって特別図柄の変

動表示以外の映像表現による連続演出が実行される場合がある弾球遊技機10であって、所定の条件が満たされたことに基づいて連続演出の開始を判定する開始判定手段41と、所定個数を上限に前記入賞条件が満たされたことによる入賞を保留する入賞保留手段61と、当該連続演出の開始前に当該連続演出が終了する変動表示の回数である終了回数を決定する終了回数決定手段42と、当該連続演出の開始後に前記入賞保留手段61に新たな入賞の保留があったことに基づいて上記終了回数を延長する終了回数延長手段46と、当該連続演出で消化した変動表示の回数が前記終了回数に達したことにより、連続演出の終了を判定する終了判定手段47とを備え、大当たり遊技が発生する場合に連続演出を終了するように形成されたことを特徴とする。